

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	バスク大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Social and Communication Sciences		
報告書提出日	2019年9月22日		
留学予定期間	2019年8月～2020年1月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 0 (ユーロ) /合計

航空券代： 184605 (円) /合計

ビザ申請関連費： 0 (ユーロ) /合計

その他 ()： () /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？ 500000 (円) /合計

5月中旬 航空券を購入

バスク大学のオンラインフォームを記入。

5月下旬 大使館でビザを申請。

6月末 Help Centre からいくつかの家族の情報が送られてくる。その後、家族と直接メールでやり取りをする。

7月初旬 ビザを受け取りに行く。

バディーの情報がメールで送られてくる。

7月中旬 ホームステイ先確定。

バディーの情報が大学から送られてきて、バディー本人にメールを送りました。しかし、何回か送信しても返信が送られてきませんでした。バスク大学に報告したのですが、大学の職員も休暇中で連絡が取れず、結局現地に到着してから新しいバディーを紹介してもらいました。ホームステイに関しては、ホームステイ先を選べないと思っていたのですが、自分が興味を持ったファミリーと直接メールでやり取りして決めるというシステムになっていたのが、非常に良かったです。

1.2. 渡航について

行きはパリ経由でビルバオまで向かいました。

空港ではホストファミリーが迎えに来てくれていました。

空港から家までは約 20、30 分で到着しました。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

ホームステイ先に到着して直ぐに 225 ユーロを現金で支払いました。

今後の支払いは月の初めに 680 ユーロ支払います。

到着したのが夜だったため、その日は軽食を作ってもらい、部屋の説明を受けて就寝しました。マンションに住んでいるのですが、部屋に入るまでに 3 回鍵を開けなければなりません。それぞれ鍵の回し方やドアの開ける方向が違うので、慣れるまで時間がかかりました。家のすぐ近くに銀行、スーパーマーケット、バス停があり非常に便利な立地です。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

オンラインで在留届を提出しました。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

8/22 スペイン語コースの登録をするために Help Centre へ。

8/26 スペイン語コース初日、テストを受けて結果は次の日に発表。

9/6 Faculty Welcome Meeting : 大学内の施設や履修方法などについて説明された。英語とスペイン語で時間帯が分かれています。

9/9 授業開始

授業 1 週目は自分の好きな授業をなんでも試すことが出来ます。2 週目に個人面談が行われ、そこで履修登録をします。個人面談では、ID とパスワードを渡され、eGela という神奈川大学でいう web ステ、Dot キャンパスにアクセス出来ます。学生証は未だに貰っていませんが、後日貰える予定です。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

バスクやスペインの文化を知るために、ホストファミリーや現地の学生と積極的に交流する。また、スペインだけではなく世界中の文化や価値観を学ぶために、最低でも 2 週間に一回は留学生交流イベントに参加する。帰国までに TOEIC850 点を目指すが、資格のために勉強するのではなく、日々の会話や授業を通して英語を学んでいく。スペイン語とバスク語を上達させるために、街ではなるべく英語を使わないようにする。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

4 月から 7 月まで留学プログラム対策講座に参加した。しかし、授業や講座で忙しく、留学のための勉強をあまり出来なかったことが残念である。出発前から英語の耳を慣らすために、Youtube を英語で見ると取り組んできたが、こちらに着いてみると、ヨーロッパ訛りの英語を聞き取るのにかなり苦労した。しかし、少しずつ慣れてきて聞き取れるようになってきた。ほとんど日本語を話していないので、英語は上達したと感じている。しかし、スペイン語は分からない単語が多く、まだまだ努力が必要だと感じている。

3.3. 今月の学習・研修目標

授業中に必ず2回は自主的に発言する。全ての授業を録音し、理解出来なかった部分を何度も聞き直し、理解出来るようにする。今使用しているスペイン語単語帳の単語を全て覚えるようにする。英語でもスペイン語でも聞き取れなかったときに分かったふりをせずに何度も聞き返す。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	Spanish Autumn Course(13:30-15:30), Photo-journalism(16:00-20:00)
火	
水	Spanish Autumn Course(13:30-15:30)
木	Basque Language, Culture and Media(13:00-15:00)
金	Basque Language, Culture and Media(11:00-13:00)
土	
日	

4.2. 授業について

①Photo-journalism: 授業の前半は教室で、カメラの使い方やジャーナリズムについて学ぶ。後半はパソコンルームに移動して Photoshop などを使用して作業する。進むスピードは速いが、内容はそこまで難しくない。また、先生も非常に優しく、日本ではあまり受けられない実践的な授業で面白みがある。ただ、カメラ用語の英語が難しいため、自分で単語帳を作り授業に取り組みたい。この授業ではカメラを使用するが、借りることも出来る。

毎回の授業中の活動や宿題、そして最後の写真アルバム作成で評価が決まる。

②Basque Language, Culture and Media: バスク地方について幅広く学ぶ。バスク語についても少し学ぶことが出来る。先生はゆっくり英語を話す、たまに声がかもって聞いてにくい。分からなかった際には隣の学生に聞くようにしている。宿題のリーディングと最後のテストで評価が決まる。少人数の授業で質問や発言が非常にしやすい。

③Spanish Autumn Course: 3つのクラスがあり、初級コースを受けるか中級コースを受けるかで迷っている。25日までに選べば良いので、もう少し受けてみてからどちらのコースにするか決めようと思います。

4.3. 予習・復習・自習について

①の授業は、写真を撮ってくるという宿題が課されました。まだあまり多くの宿題は出されていませんが、授業外にやらなければならないことが多いらしいです。

②の授業は、まだ始まったばかりということで宿題は全く出されていません。授業の録音を聞いたり、ノートを見返して復習しています。また、授業で紹介された場所にも自主的に訪れました。

③録音した授業を聞いて復習しています。また、授業で出てきた分からない単語をノートにまとめています。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	ホームステイ（その他： ）
<p>スペイン料理やバスク料理は美味しいものが多く、日本食も簡単に手に入るの、食に関して困ることはありません。治安は他のスペインと比べると比較的安全ではありますが、一部危険な地域もあります。常にスリには警戒するようにしています。物価は日本より安く、非常に生活しやすいです。ホストファミリーとは今までトラブルになったことはありません。他の家族や、シェアフラットで生活している学生に比べると月々の料金が高いです。しかし、非常に優しい家族で、様々な場所に連れていってくれます。また、スペインやバスクの文化をより深く知ることが出来るので、非常に満足しています。</p>	

5.2. 課外活動について

<p>休日には、ホストファミリーや大学の友人と出かけることが多いです。ビルバオに到着した週の週末には年に1度のお祭りが開催されました。その次の週にも近隣の町でお祭りが開催されていました。バスクの文化を知る良い機会になりました。ESN Erasmus と Happy Erasmus という団体が平日の夕方や休日に様々なアクティビティーを企画してくれています。私も何度かイベントに参加しました。無料で参加出来るイベントも多く、ビルバオ市内の他の大学の留学生とも交流出来る機会になるので、参加することをお勧めします。ビルバオからは近隣の町やフランスにバスで日帰り旅行が出来ます。</p>

5.3. 現在までの感想

<p>授業は大変ですが、ホストファミリーやバディー、大学でできた友達がとても優しく、毎日楽しく生活しています。日々、世界中の国の文化や言語の違いなどを知ることが出来てとても面白いです。また、バスクは独自の文化や言語を持つ特別な地域なので、改めてバスクを選んで良かったと思っています。就職活動まで時間はありますが、留学中に企業見学や工場見学をしたいと思っています。悩みはあまりありませんが、一時期、書類の手続きなどで時間を取られ勉強する時間が無くなってしまったり、留学生の交流イベントに参加出来なかったのが残念でした。国際センターにあたる Help Centre では書類のサインが貰えません。自分が所属する学部の事務室に行く必要があるので注意が必要です。また、ビルバオ市内にある Help Centre の職員は英語があまり話せませんでした。しかし、全体的には充実した生活を送っています。より充実した留学生活を送るために、勉強時間を増やし、積極的に他の学生と交流していきたいと思っています。</p>

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（10月）

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	バスク大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Social and Communication Sciences		
報告書提出日	2019年10月29日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

バスクやスペインの文化を知るために、ホストファミリーや現地の学生と積極的に交流する。スペインだけではなく世界中の文化や価値観を学ぶために、最低でも2週間に一回は留学生交流イベントに参加する。また、出来るだけ多くの場所を訪れて、現地の人と交流する。帰国までに TOEIC850 点を目指す。スペイン語とバスク語を上達させるために、街ではなるべく英語を使わないようにする。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

初めころは、授業中に意見を言うことはなかなか難しかったが、徐々に言えるようになってきた。授業によっては、1回の授業で6, 7回自主的に発言することも出来ている。最近では録音を聞かなくても授業を理解できるようになってきた。しかし、1度授業を聞いただけでは理解出来ないときもある。引き続き録音を聞いて、授業をより深く理解できるようにしたい。単語帳に関しては、終わらせることが出来なかったので引き続き隙間時間を使用して覚えていきたい。

1.3. 今月の学習・研修目標

スペイン語力を向上させるために、毎日最低でも20分はスペイン語でテレビや Youtube を観る時間を設ける。英語力を向上させるために、週に2時間は、テキストや単語帳を使用して、英語を勉強する。英語で長い文を言うことが苦手である。そのため、何か質問されたときに、一言で終わらせるのではなく、長めの文で答えるようにする。

2. 学修について

2.1. 授業について

Photojournalism では、前半の時間で新聞や記事に載っているいくつかの写真を見て、使用されている技術、その写真を見てどのように感じるのか、など生徒が意見を言い合う。後半の時間では実際に外に出て写真を撮ったり、パソコンルームでグループワークをしたりしている。最初の頃に比べてかなり授業を理解出来るようになり、自主的に発言も出来るようになった。とても内容が面白い授業である。しかし、この授業が英語で開講されるのが初めてということもあり、課題や最終アルバムの条件が変更に

なることが多くて困っている。スペイン語のクラスは初級を選択したので、そこまで難しくない。学期前の intensive course では初級クラスでも難しく、グループワークも多かったので、今のクラスに少し物足りなさを感じている。受け身型の授業なので、なるべく自分から発言するようにしている。バスクのクラスでは、前半にバスクの文化を学び、後半はバスクに関わるビデオを見たり、バスク語を学んだりしている。面白い授業ではあるが、先生の英語が聞き取りにくく苦勞している。

2.2. 予習・復習・自習について

Photojournalism について、最初の頃は復習をする際に授業の録音を毎回最初から最後まで聞きなおしていた。しかし、今では録音を聞かなくてもほとんど理解出来るようになったので、復習にかける時間をかなり減らすことが出来ている。ただ、授業外にやらなければならないことが多いのでかなり大変である。最終アルバムを作るために、最低でも6個のイベントに行き、写真を撮り、ニュース記事を書かなくてはならない。復習と同時に最終アルバムに向けての準備も行っている。スペイン語コースについては、授業で習った単語を復習したり、習ったフレーズを実際に街で使用するようにしている。バスクのクラスに関しては、復習にかなりの時間を必要としている。原因としては他の生徒に比べ英語が出来ないことに加え、キリスト教やヨーロッパの歴史に関する知識が少ないことが挙げられる。そのため、毎回授業後に教授に質問をしている。期末テストが不安なので、なるべく早めに対策していきたい。

2.3. 語学力について

英語力について、現地に到着する頃に比べると向上している。しかし、他の生徒と比べると自分の英語力はかなり低いと感じている。こちらに着いてから、授業を英語で学んでいるが、英語自体を学ぶ機会があまりなくなってしまったので、これから増やしていきたい。語彙力がないことを実感しているので、大学受験期に使用していた単語帳をもう一度読み返す。スペイン語力も向上はしているが、日常会話レベルまで上げるにはまだまだである。友達とは基本的に英語で話しているが、スペイン語を話す友人とは出来る限りスペイン語で話すようにしていきたい。バスク語については、簡単な挨拶や、自己紹介が出来るようになった。少しでもバスク語を使用すると、現地の人も喜んでくれるので積極的に使用していきたい。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	ホームステイ（その他： ）
----	---------------

今まで、ホストファミリーとの大きなトラブルはなく、少しずつ家族との距離も縮まってきた。課題などやるべきことはたくさんあるが、出来る限り家族と一緒に過ごす時間を増やして、さらに距離を縮めていきたい。場所に関しては、家のすぐ近くに大きなスーパーマーケットや、大学へ向かうバス停があり非常に便利である。ヨーロッパ発祥のブランドは、日本と比べるとかなり安く購入することが出来る。ショッピングモールもあるので、衣服に関して困ることはない。食事に関しては、スペイン料理もバスク料理も自分の口に合う。ホームステイで、現地の食事を毎日食べられるので満足している。また、日本と同じ、もしくは日本よりも安い価格で外食が出来る。そのため、週に約1度友人と外食をしている。街のいたるところにあるカフェは、飲み物も食べ物も非常に安いので、グループワークや自習で使用している。

3.2. 課外活動について

平日は、授業前も放課後も大学や町の図書館で勉強している。休日は、友人と出かけたり、**photojournalism** の課題のためにイベントに行くことが多い。大学独自のアクティビティーや活動はあまりないが、**erasmus** 団体が企画しているアクティビティーがほぼ毎日開催されている。他大学の生徒とも交流出来るので、忙しくても2週間に1度は参加するようにしている。1か月に1、2回、週末に短期間で旅行をしている。11月と12月に連休があるので、少し長めの旅行を計画している。

3.3. 現在までの感想

少しずつバスクの生活にも慣れてきた。最初の頃は、不安もあったが今では充実した生活が送れている。勉強に関して、最初は授業についていくのも大変だったが、だんだんついていけるようになってきた。しかし、自分にとって宿題がかなり負担になっている。特に **reading** の課題は、他の生徒の何倍も時間を必要としている。留学生活を通して、世界中の学生と交流することが出来、文化の相違点を学ぶことが出来ている。また、日本と他国を比べることで、日本についても学ぶことが出来ている。海外にいてもあり、最近疲れやすくなっていると感じている。気温の差も激しいので、体調管理には十分気をつけたい。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	英語英文学科	2 年次
派遣先大学 (国)	バスク大学 (スペイン)			
所属プログラム・ 学部・研究科	社会コミュニケーションサイ エンス学部	履修言語	英語	
留学期間	2019年 8月～2019年 12月			
報告書提出日	2020年 1月 15日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
学期前ス ペイン語講座	8月26日 ～9月6日 (2週)	9月6日 ～ 月 日	事前にオンライン申し込みを済ませた。授業期間の前の週に一度 Help Centre を訪れ、本登録の手続きを行った。
秋学期	9月9日 ～12月20日 (週)	12月16日 ～12月20日	初めの週はお試し期間で、どの授業も受けることが出来る。2週目に学部の事務室に行き本登録の手続きを行った。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
秋学期	Photo- journalism	60時間	前半の2時間は、教室でカメラやジャーナリズムの基礎について学んだ。後半の2時間は、パソコンルームで Photoshop の練習をしたり、グループワークを行ったりした。期末テストはないが、最後に今まで習ったことを確認するための小テストを受けた。また、最終プロジェクトとして自分で写真を撮り、ニュース記事を書く必要がある。
		4(時間/回) × 1(回/週) × 15(週)	
秋学期	Basque Language, Culture and Media	60時間	前半はバスクの文化を、映像や画像も見ながら学習した。後半は、日によって違い、前半と同様に文化について学ぶか、バスク語を学んだ。毎週リーディング課題があり、内容についてのクイズをオンラインで受ける必要があった。最終試験
		2(時間/回) × 2(回/週)	

		×15 (週)	については、直前の週に問題の例題リストが配られる。最終試験前は、例題リストと今までのノートとリーディングを見返した。
秋学期	Spanish Autumn Course	60 時間	文法よりも新しいボキャブラリーを学ぶ時間が多かった。数回、教室外のアクティビティーがあった。毎週オンラインで宿題をやらなければならない。期末試験は、筆記問題のみで、授業で習っていない範囲も出された。
		2 (時間/回) × 2 (回/週) ×15 (週)	
学期前	Spanish Intensive Course	45 時間	初級コースだったが、英語での説明は少なく、基本的にスペイン語で授業が進められた。グループワークやクラス外活動なども多く行われた。最終試験は、筆記問題と口述試験があった。1 週間目と 2 週間目では時間帯が異なる。
		(時間/回) ×(回/週) × 2 (週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

授業はなるべく前方の座席に座り集中して聞いた。また、なるべく自分から授業中に発言するようにした。最初の一か月は、全ての授業を録音してもう一度聞いた。分からないことがあれば、友人に聞くか、オフィスアワーで教授に直接聞きにいったりした。英語力が足りず、授業の理解や課題に時間がかかったため、周りの生徒よりも時間をかけて勉強した。

1.4. 語学力について

英語は、初めは授業でもなかなか発言出来なかったが、少しずつ出来るようになっていった。最後のプレゼンテーションでは、原稿を全く見ないでも発表出来るようになった。スペイン語は、到着した際は、文法はある程度分かるが、知っている語彙数は少ないという状態だった。日々少しずつ語彙数を増やした。最初はホストファミリーとの会話も殆ど英語だったが、帰国する頃には、ゆっくりではあるが、殆どスペイン語で会話することが出来るようになった。バスク語は、到着した際には全く分からず、スペイン語とバスク語の区別さえも出来なかった。現地の人々の真似をして少しずつ覚えた。街では、挨拶など簡単に言える部分はバスク語、その他はスペイン語、スペイン語でも言えないことは英語で会話をした。そのため、3 言語を向上させることが出来た。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

Photo-journalism に関して、履修前は写真やジャーナリズムについての知識は殆ど無かった。しかし、授業を受けてからは、ニュース記事を見る際に、ジャーナリストがなぜそのようなアングルやカメラモードを使用して写真を撮ったのかということ、記事内容と関連付けながら考えられるようになった。それにより、よりニュース記事を理解出来るようになった。また、写真を見る人のバックグラウンドによって、全く同じニュース写真でも違うように見えるということも学んだ。Basque Language, Culture and Media の授業では、バスク地方の文化や言語、政治など幅広い知識を身に着けることが出来た。言語に関しては、バスク語の簡単な挨拶、自己紹介、数字などを学んだ。日本とバスク地方の相違点や類似点についても考え、特に言語に関しては、想像以上に類似点も多いということにも気付いた。スペイン語の授業では、スペイン語だけではなく、スペインの文化や、留学生の出身国の文化を知ることが出来た。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

1つ1つの課題に時間をかけすぎてしまったので、もう少し効率的に勉強すれば良かったと思う。オフィスアワーを使用して Tutorial にほぼ毎週参加したが、かなり授業を理解する助けとなった。授業が理解出来ない場合や、課題について疑問があるときなどはオフィスアワーを有効活用することをお勧めする。

2.3. 留学生活で得られたもの

留学生活を通して得た成果が主に2点ある。1点目は、自分の将来について考えることが出来たことだ。様々なバックグラウンドを持った学生らと交流し、多様な生き方を学んだ。それにより、自分の人生の選択肢が広がった。また、ボランティア活動等をしている学生が多かった。自分も社会貢献が出来るような仕事や活動に取り組みたいと考えるようになった。2点目は、日本について学ぶことが出来たことである。バスクの文化や、他の留学生の出身地域の文化を学ぶことで、日本についても改めて考えることが出来た。また、他の留学生と交流するなかで、彼らが日本についてどのように考えているのかということも学べた。日本のことを客観視するきっかけとなった。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

留学生活の反省点として、初めの頃は自分一人で全てこなそうとしていた点が挙げられる。途中から、友人と助け合っていくことで勉強も効率的に行え、留学生活もより楽しくなっていった。もっと早くから実践していれば良かったのではないかと思う。留学志望者へのアドバイスとしては、自分から積極的に行動することが大切だということが挙げられる。私は、授業でニュース記事を書く必要があった。そのため、いくつかのイベントの運営に自分から連絡を取った。運営の手伝いをさせていただいたり、関係者のみの特別イベントに招待していただいたりして、非常に貴重な経験となった。留学中は、自分から動いていくことでより充実した生活を送れると思う。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2020年1月11日

所 属	外国語学部	英語英文 学科	2 年次
派遣先大学	バスク大学		5 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	ルームメートなし、4LDK
3	入居時手続き	留学前に大学の Help Centre にホストファミリーの情報を教えてもらい、家族と直接メールでやり取りを行った。
4	費用 (月額)	680 (ユーロ) (食費 食費含む/月)
5	支払方法	月の初めに現金で支払い
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
7	住居選択方法	<input type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	大きなスーパーが徒歩 2 分、バス停まで徒歩 2 分、地下鉄駅まで徒歩 10 分
9	アクセス	徒歩 2 分のバス停から約 20 分かかる。現金だと 1.5 ユーロだが、bar ik というカードを使用すると約 1 ユーロになる。
10	留学中の住居に関して アドバイス	ほとんどの学生はシェアフラットに住んでいる。大学の推薦寮も良いが、治安があまり良くないと言われる地域の入り口付近に位置している。

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地で SIM カードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	Vodafone に行き SIM カードを購入。その際にパスポートが必要である。私は、毎月 8GB 使用でき、海外にも電話が出来る 15 ユーロのプランを選んだ。
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均）		
1	宿舍費	680（ユーロ）/月
2	食費	40（ユーロ）/月
3	交通費	50（ユーロ）/月
4	通信費	15（ユーロ）/月
5	娯楽費	300（ユーロ）/月
6	図書費	0（ユーロ）/合計
7	学用品（教科書など）	30（ユーロ）/合計
8	被服費	30（ユーロ）/合計
9	医療費	0（ユーロ）/合計
10	雑費・その他	0（ユーロ）/合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む）		
11	出願料・宿舍デポジット	0（ユーロ）/合計
12	ビザ申請関連費	0（ユーロ）/合計
13	航空券代（休暇時旅行費用は除く）	15,100（円）/往復
14	その他	5,000（円）/合計
15	留学全日程に要した総額（概算）	6,500（ユーロ）/合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：50,000円） <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名： ） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
17	現地で銀行口座開設	してない
18	お金に関するアドバイス	ほとんどのお店でクレジットカードが使用出来る。カード類は、2枚以上持っていくことをお勧めする。

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	C19 プラン (5か月分で48,110円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
衣服、文房具、日本食、ホストファミリーへのお土産、パソコン、携帯電話、電子辞書、薬	
2	現地で購入したもの
衣服、文房具	

VI. 留学先で困ったこと

最初は授業についていくのが大変だった。大学にアジア人が少なく、たまに疎外感を感じた。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

留学中は自分が気付かないうちにストレスや疲れを感じると思います。勉強や他の学生と遊ぶ時間も大切ですが、自分一人の時間や日本の家族や友達と電話をする機会などを定期的に設けた方が良いと思います。留学先の言語についてですが、街ではあまり英語が通じません。また、留学生が集まるイベントでは学生同士英語で話します。そのため、どちらの言語も留学前にある程度勉強しておいた方が良いと思います。